

## 研究結果報告書

研究テーマ：日本における現存の近代漢語音ローマ字資料についての整理と研究。

当研究は、16世紀以降に中国を訪問した西洋の宣教師が著した中国語学習のための書物(学習書・辞書・文法書など)を参照して実施した。

具体的な成果としては、口頭発表を4回行い、論文を二件投稿中である。

口頭発表及び、投稿中の論文のポイントは下記である。

1) 「西風東漸」がアジア社会における伝統的な漢字文化に衝撃を与えた。その結果、言語の表記方法は、縦書きより横書きへ変わっていき、近代的な形へ近づいていった。また、異文化間コミュニケーションでは、西洋の宣教師たちは布教のために、中国語の学習を開始した。それに伴い、いわゆる「西洋漢学」が成長し、宣教師による漢学が多数現れた。2) 近代日本の「脱亜入欧」意識の原因は黒船とアルファベットの襲来によるとも言えるわけで、当時、「唐音勤学会」では中国語の学習を辞め、オランダ語を学び始めた。文化共生の意味で、近代日本は言語の調和と共に文化についても西洋文化の受け入れが始まったが、文化的な融合を進めれば進めるほど自国の伝統文化側の許容力も必要となることを重要視すべきである。3) マテオ・リッチ (Matteo Ricci) が刊行した『西字奇蹟』は最初に同氏が羅明堅 (Michel Ruggieri) と合作した『葡漢辞典』より、ローマ字漢語音の表記の科学性、正確性が高かったので、同書はそれ以降のローマ字漢語音記録の規範となり、金尼閣の『西儒耳目資』まで影響を及んだ。4) 山東省へ布教したC.W. Mateer (狄考文) が編撰した『官話類編』は当時及びそれ以降の欧米人の中国語の勉強に大きな影響を与えた。今回、複数の版本を調査した上で、他のローマ字資料、韻書、方言資料と対比して、『官話類編』に反映される19世紀官話の特徴に対し歴時的な変化に注意を払って研究した。そして、近代に中国を訪問した宣教師の貢献及びローマ字資料の影響をめぐって北方の山東省まで調査を行った。

口頭発表では、1) 「西風東漸」という歴史的な背景の下で、東アジアにおける伝統秩序への衝撃を与えた西洋のローマ字がどんな影響を及ぼしたかについて「日本の近世における唐音から中日両国の文化交流観照することについて」の発表をした(「21世紀日中関係の回顧と思考」国際シンポジウム、遼寧大学、2011年9月2日-4日)。2) 地域文化交流史の視点から、「言語の和諧から社会の和諧まで—アジア地域における言語文化交流の筋」という口頭発表をした。(「東アジアにおける文化的コミュニケーションと平和発展について」国際シンポジウム、西安交通大学、2011年10月20日-23日)

または音韻専門領域で、3) 主に南京へ布教したマテオ・リッチと山東省へ布教したC.W. Mateer (狄考文) を中心に、研究者を集めて中国のアモイ大学で開催された中国音韻学研究会第17回年会(黄典誠教授學術思想国際シンポジウム、アモイ大学、2012年8月24日)で「『官話類編』が反映された19世紀における官話の音韻的研究」(《官話類編》所反映的19世紀官話的語音研究)を発表、同時に指導した院生の張家銘、李婧超が4) 「『西字奇蹟』におけるローマ字の対音資料の音系研究について」(《西字奇蹟》羅馬字対音資料的音系研究)をした。

投稿論文としては口頭発表文を修正、加筆した2件がある。そのうち、「『官話類編』が反映された19世紀における官話の音韻的研究」は『暨南学報』(広東省：暨南大学の学報、CSSCI)へ投稿中である。または「『西字奇蹟』におけるローマ字の対音資料の音系研究について」を曲阜師範大学の『現代語文研究』へ投稿している。他の関係論文も順次発表予定である。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

1. 従日本近世唐音觀照中日文化交流「日本の近世における唐音から中日両国の文化交流を觀照することについて」 楊春宇 (「21世紀中日關係回顧と思考」国際シンポジウム、2011年9月2-4日、中国瀋陽：遼寧大学)；
2. 従語言和諧到社会和諧 東北亜地区語言文化交流史綱「言語のから社会の和諧まで—東アジア地域における言語文化交流の筋」楊春宇 (「東アジアにおける文化的コミュニケーションと平和発展について」国際シンポジウム、2011年10月20日-23日、中国西安：西安交通大学)；
3. 《官話類編》所反映的19世紀官話的語音研究「『官話類編』が反映された19世紀における官話の音韻的研究」 楊春宇 (中国音韻学研究会第17回年会暨黃典誠教授學術思想國際シンポジウム、2012年8月24日、中国アモイ：アモイ大学)；
4. 《西字奇迹》羅馬字对音資料的音系研究「『西字奇蹟』におけるローマ字の対音資料の音系研究について」 李婧超 (中国音韻学研究会第17回年会暨黃典誠教授學術思想國際シンポジウム、2012年8月24日、中国アモイ：アモイ大学)。

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

1. 《官話類編》所反映的19世紀官話的語音研究 楊春宇 李婧超
2. 《西字奇迹》羅馬字对音資料的音系研究 楊春宇、張家銘

論文投稿審査中。

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)